

## ●デイケア(通所リハビリテーション)とは

今回は、在宅生活を営みながらサービスを受けることができるサービスとしてデイケア(通所リハビリテーション)について解説いたします。

もし要介護状態となっても、可能な限り居宅において自立した日常生活を送ることができるように、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士がリハビリテーションを提供します。

デイケアの主な一日の流れは、自宅へのお迎えのサービスからはじまり安心して利用できます。施設では、毎日の血圧・脈拍体温チェックも行われ、機能訓練を重視しているところです。

また、介護認定を受けられた方に対して、身体や精神機能、生活機能を回復させるための訓練を行うことによって、家族の方の負担を軽減させるという側面もあります。

対象者は要支援・要介護の認定を受けられた方です。

人員配置基準：医師、看護職員、介護職員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士

## ●地域のコミュニティとして

デイケアの大きな特徴は、理学療法士や作業療法士による機能訓練を通所で受けられることです。専門職の配置、専用のリハビリ機器も用意されており在宅生活を送りながら充実した訓練を行うことができます。通所で個人に合った訓練を行うことによって、在宅生活での自立度も高まります。また、訓練だけでなく食事や入浴はもちろん、花見や七夕といった年間行事も多くの事業所で行われています。このように地域の集まりといった面も持っており、在宅生活で孤立感を抱える孤立感の解消にもつながります。

## ●デイケアとデイサービスの違い

デイケアもデイサービスも在宅生活を送りつつ利用することができるサービスです。どちらのサービスも利用者の必要性に応じて自宅から通所することになります。違いはデイサービスが日常生活上の支援を主とするサービスであるのに対して、デイケアはあくまで利用者のリハビリテーションを主な目的となる点です。デイケアにおいては、より利用者自身が訓練を行うという性質があるのに対し、デイサービスは日常生活上の支援が主な機能といえます。

### ●デイケア

- ・機能訓練(身体や精神機能の向上)が主。
- ・リハビリ専門職の指導を中心に受ける。



### ●デイサービス

- ・日常生活支援(食事や入浴等)が主。
- ・介護サービスを中心に受ける。

## ●施設選びのポイント

デイケアには、専門職の配置基準や設備の基準など一定の基準が定められています。しかし、施設によって力を入れている設備やサービスには違いがあります。費用についても、食事代おやつ代、イベントで使用する材料費等は施設によって異なりますので実際にご自身の目で確かめるかケアマネージャーや医師とよく相談してご自分に合った施設を見つけましょう。

- ・施設によって力を入れている訓練やイベントに違いがあることを考慮する。
- ・担当のケアマネージャーとよく相談する。
- ・施設見学や説明会に家族と一緒に参加する。
- ・職員との相性や施設の雰囲気を確かめる。
- ・デイケア一日体験に参加する。

### ●デイケアの一日の流れの例

- 8:30～ お迎え開始
- 9:00～ 施設到着 健康チェック(体温・脈拍・血圧)
- 9:30～ 回想法(過去の思い出を語る心理療法) 体操
- 10:00～ 個別訓練 入浴
- 12:00～ 昼食
- 13:00～ 個別訓練 入浴
- 15:20～ 送迎車出発

## ●デイケア利用に必要な費用

事業所の規模や所要時間、要介護度によって費用が設定されています。送迎の費用も含まれます。食事代おやつ代などは別途負担となります。

### (例)要介護1の場合

- ・要介護1 3時間以上5時間未満…4,260円/回(自己負担426円/回)  
5時間以上7時間未満…6,410円/回(自己負担641円/回)  
7時間以上9時間未満…7,350円/回(自己負担735円/回)

## ●大牟田地域住民医療・介護情報共有拠点事務室 OSKER

大牟田の医療・介護施設情報を掲載しています。どなたでも好きな写真を投稿できるギャラリーを製作いたしましたのでご紹介いたします。次号は在宅生活に役立つデイサービスやデイケア、訪問看護といったサービスをご紹介します。

TEL 0944-57-2007

Web サイト <https://osker.org/>